

参加
無料



文化から捉える手話

～フランス映画『ヴァンサンへの手紙』を通して～

手話の歴史は日本だけではなくフランスや他の国でも似たような歴史を辿っていることをご存知でしょうか。

今回「文化から捉える手話」をテーマに12月8日(土)、愛知県立大学多文化共生研究所と聾の鳥プロダクションが共催でトークを行います。フランスのろう者コミュニティを追ったドキュメンタリー映画『ヴァンサンへの手紙』を日本で紹介している牧原依里と愛知県立大学外国語学部教授の亀井伸孝先生が登壇します。

亀井先生はアフリカやフランスを含む、世界のフランス語圏のろう者、手話に関わりをもってきた文化人類学の研究者でもあります。本イベントでは映画『ヴァンサンへの手紙』を通して、フランスおよびフランス語圏諸地域の手話の文化について亀井先生より解説いただきます。多文化共生のあり方について考察するこの機会、是非とも皆さまのご参加をお待ちしております。

※参加するにはお申込が必要です。お申込は下記のQRコードもしくは公式サイト『ヴァンサンへの手紙』お知らせをご参照ください。

プログラム

- 16:00-16:15 映画『ヴァンサンへの手紙』について(牧原依里)
- 16:15-16:30 フランスおよびフランス語圏諸地域の手話の文化(亀井伸孝)
- 16:30-16:50 対談 亀井伸孝×牧原依里
- 16:50-17:00 質疑応答

使用言語は日本手話と日本語です。手話通訳と音声認識アプリ UD トークによる書記日本語の情報支援が付きます。

2018年12月8日(土) 16:00-17:00

愛知県立大学サテライトキャンパス

愛知県産業労働センター「ウインクあいち」15階

名古屋駅から徒歩5分

お申し込みは
こちらまで!



主催:聾の鳥プロダクション・愛知県立大学多文化共生研究所
情報支援 協力:名古屋難聴者・中途失聴者支援協会

お問い合わせ先: letters.to.vincent.office@gmail.com(聾の鳥プロダクション)
tabunka@for.aichi-pu.ac.jp(愛知県立大学多文化共生研究所)